

送信オプション：着信拒否リストに数が表示されたかどうかの特定

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[数がにあることを確認して下さい-リストを呼出して下さい](#)

[先の ICM 7.x より](#)

[ICM 7.x および以降](#)

[関連情報](#)

はじめに

この資料は記述するように数がに現われたかどうか確認する方法を-呼出します Cisco Unified インテリジェントな コンタクトセンター 管理 エンタープライズ (ICM) Cisco アウトバウンド オプション 環境のリストを意図されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- [Cisco アウトバウンド オプション](#)
- Microsoft SQL (先の ICM バージョン 7.x よりのために)
- リモートプロセスモニタコンソール (ICM バージョン 7.x および それ 以降のために)。 参照しま [リモートプロセスモニタコンソール \(procmon \)](#) を詳細については [使用します](#)。

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は ICM バージョン 7.x および それ 以前に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

プレディクティブ ダイヤリング システムが a を維持することを状態および国の法律は-呼出します リストを必要とします。各キャンペーンおよびリストには対してチェックする必要があります -リストを呼出して下さい。システムがの数を見つけたら-リストを、システム数にダイヤルしてはなりません呼出して下さい。

Cisco アウトバウンド オプションはサポートします-コール リスト。この機能によって、ダイヤラは電話番号はできたりまたはダイヤルすることができないかどうか判別するために電話番号がダイヤルされる前に a に対してダイヤルされるべき数を-コール リスト比較します。状況がある場合もありますたとえば、a が後-コール リストは-呼出します リストをある特定の数はにあるかどうか確かめる必要があるところで、インポートされます。

数があることを確認して下さい-リストを呼出して下さい

数があった利用可能な 2 つのメソッドが- Cisco Unified ICM のバージョンに基づいて Cisco アウトバウンド オプションのコール リストを確認するためにあります。先の ICM バージョン 7.x よりでは-コール リストは Microsoft SQL データベーステーブルで保存されます。バージョン 7.x および それ 以降で、番号はメモリで保存されます一方。

先の ICM 7.x より

SQL クエリ アナライザ/エクスポート/検索表示するために Blended Agent (BA) データベースの Do_Not_Call_Table 使用して下さい。次の手順を実行します。

1. SQL クエリ アナライザを開いて下さい。
2. BA データベースを選択するためにドロップダウン ボックスを使用して下さい。
3. SQL クエリ アナライザでは、型は Do_Not_Call * 。
4. クエリを実行するために緑のチェック マークをクリックして下さい。

ICM 7.x および以降

ICM 7.x および以降における 2 つのメソッドがあります。

方式 1

の内容をチェックする使用 procmon はない-メモリで保存されるコール リスト。これら二つのコマンドは利用できます:

```
Syntax: c:\>procmon
>>>> donotcall /query Number, Extension
!--- This command verifies if the number-extension !--- pairs are currently in the memory.
```

```
Syntax: c:\>procmon
```

```
>>>> donotcall /count
```

```
!--- This gives the total number of entries in !--- the memory of the Do-Not-Call list.
```

方式 2

のインポートが後-現在あるものがのリストをののためのメモリに、選挙事務所長作成しますバックアップ ファイルを-呼出しますリストを呼出して下さい。ファイルはこのディレクトリで保存されます: c:\icm\ <instance> \ la/bin/DoNotCall.restore

このファイルはあらゆるテキストエディタで現在の内容が-コール リストことを確認するために表示し、使用することができます。

関連情報

- [Cisco アウトバウンド オプション: -リスト表を呼出して下さい](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーション サポート リソース](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)